

世界と選択

令和6年3月9日

○ 黒田インターナショナルコンサルティング
黒田 毅

現実が支配する世界は、夢を抱くことはできない。そのもとで、選択という現実が存在するのである。

全ての存在は未来を希求する。それは唯一選択において存在するのである。

これらは自らの世界と未来の創造するための唯一の現実なのである。これらは全ての存在が自己において未来への選択を有するためである。

選択は現実を創造する。これらが、我々が自らのオフィスから世界への発信を求める真実なのである。

未来という現実を選択であるならば、我々は率先してそれを行うべきである。

新しい世界の創造は、自らの理想とともに、その未来への歩みを行うことができるのである。

これらは、今日の技術進歩は、新しい世界の創造を可能とできるのである。また宇宙への参加は、無限の可能性を有するのである。

これらは国策において、新しい国家を求めることは可能である。また世界の枠組みとルールに対して、自ら新しい世界を提案することもできるのである。

これらは現実への従属という選択から、対等な自己における世界の共有という現実を提案するものである。

希望は行動において実現する。これらが既存現実を離れ、未来へ参加することの必要性なのである。

可能性を否定せず、それを行うことは、唯一未来を創造することである。